

義務教育課長メッセージ

～5月25日、完全再開に向けて～

本日（5月13日）をもって、県内全市町が分散登校を開始します。

各メディアでは、連日、久しぶりの学校を心待ちにしていた子供たちや先生たちの様子が報じられ、完全再開への期待が日を追って高まっています。

県内の児童生徒や保護者からは、次のような声が寄せられています。

【児童生徒】

- ・今まで家庭でのプリントや問題集、ドリル学習が多かったが、久しぶりに授業形式で学習して、勉強が楽しいと感じた。
- ・先生たちが透明なカバー（フェースシールド）を顔にして授業をしていた。うつらないよう、うつさないように気を付けていることがよく分かった。
- ・通学できることのありがたみを感じた。
- ・学校では、感染予防対策として様々な工夫をしてくれていたのので、安心できた。
- ・早く完全再開してほしい。

【保護者】

- ・登校班ごとの分散登校は、とてもありがたい。
- ・広い空間で距離を取ったり、マスクやフェースシールドを着用したりしていて感染予防に努めていただいております、安心した。
- ・登校させることへの不安はあるが、不安ならば欠席して（休んで）よいことと、その代わりに家庭訪問を継続してくれると聞いてとても安心した。
- ・子供が学校から帰ってきて、笑顔で学校の様子を話してくれたので、安心した。

県教育委員会では、感染予防対策の徹底について、数次にわたり各市町教育委員会を通じて各学校にお願いをしてきました。各学校では、教卓へのビニルシート設置やフェースシールドの作成等、先週末から、子供たちを迎える準備に時間と労力を費やしていただきました。真しな取組に感謝します。

おかげをもって、学校での感染への不安を訴える方々におかれても、各小中高等学校がきめ細かい対策を講じていることを報道等で目にし、実際に子供の話を聞き、不安感が和らいできている様子です。

一方で、県歯科医師会から情報提供していただいた、マスクの上にフェースシールドを装着する形は、一部教員から気温が上昇する中では息苦しさを感じるとの報告を受けました。机間指導等、子供と至近距離で対話する場面でのフェースシールド着用の重要性に鑑み、マスクとは切り離れた形のフェースシールドを準備（作成）していただくようお願いします。

5月25日に県内の小中高校生がそろって通常どおりの学校生活に戻れることを目指し、今後とも、各学校及び地域が、校長先生を中心に力を合わせ、感染予防対策を徹底していただくよう、重ねてお願いします。そうすることが子供たちを守ること、先生たちを守ること、そして、学校や地域を守ることにつながります。引き続き、緊張感をもって、丁寧な取組を積み重ねていただきたいと思います。